

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

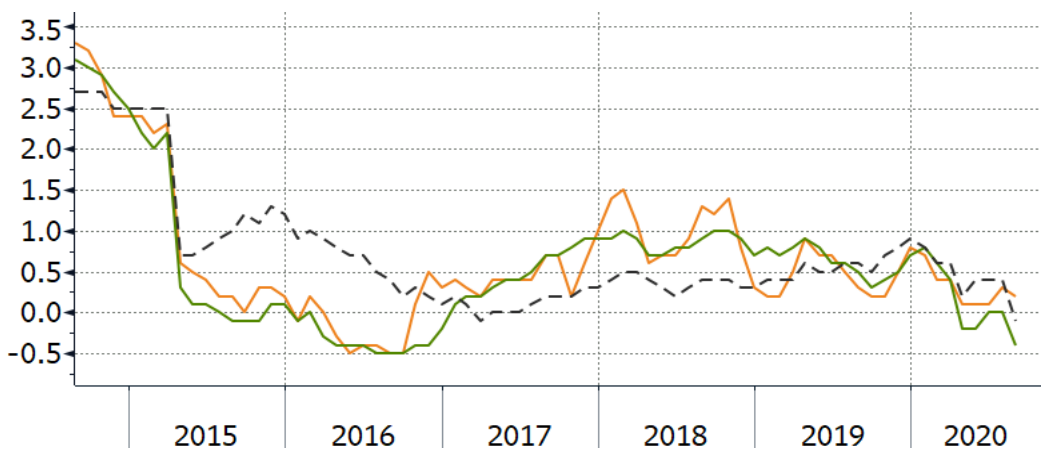
(日本8月消費者物価指数)

- ◆ 2020年8月の消費者物価指数、価格変動の大きい生鮮食品を除いたコア指数は前年比▲0.4%（前月0.0%）と3か月ぶりのマイナスとなった。昨年10月に行われた消費増税及び幼児教育・保育無償化の影響を除いた指数は前年比▲0.8%。
- ◆ マイナスの大半は宿泊料の下落が要因となっている。政府の新型コロナ対応の経済対策として「GoToトラベル」が実施されたことにより、消費者が実際に負担する価格が大きく下落したことが反映された。
- ◆ 右下図のとおり原油価格が上昇傾向にあったことでガソリン等の石油製品は値上がり、前年比下落幅を縮小した。生鮮食品に加えエネルギーを除いたコアコア物価は前年比▲0.1%と2017年3月以来のマイナス。
- ◆ 景気実態とは関係ない制度要因による宿泊料の下落は割り引いてみる必要はあるものの、新型コロナウイルスの影響が残る中で物価上昇圧力は高まらず、コア物価は当面マイナス圏での推移が続く見通し。

【全国CPI 前年比内訳】

(%)	ウェイト	前年比						
		20/3月	20/4月	20/5月	20/6月	20/7月	20/8月	
総合	100.0	0.4	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	
(消費税・教育無償化除き)		0.1	▲0.3	▲0.3	▲0.2	0.0	▲0.1	
コア (除生鮮食品)	95.9	0.4	▲0.2	▲0.2	0.0	0.0	▲0.4	
(消費税・教育無償化除き)		0.1	▲0.6	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲0.8	
コアコア (除生鮮・エネルギー)	88.0	0.6	0.2	0.4	0.4	0.4	▲0.1	
(消費税・教育無償化除き)		0.4	0.0	0.2	0.2	0.2	▲0.4	
財	49.7	0.9	0.7	0.5	0.5	0.8	1.4	
生鮮食品を除く財	45.6	0.9	0.2	0.0	0.3	0.2	0.3	
農水畜産物	7.4	0.7	4.1	3.9	2.4	4.6	8.0	
(生鮮食品)	4.1	0.3	6.7	5.8	3.2	6.9	13.6	
食料工業製品	14.5	1.2	0.8	1.0	0.7	0.3	0.3	
繊維製品	4.0	1.1	1.1	1.2	0.9	1.1	1.1	
耐久消費財	6.0	1.0	0.9	1.5	2.2	2.1	1.7	
石油製品	3.1	1.0	▲7.2	▲13.0	▲10.2	▲8.0	▲5.5	
電気・都市ガス・水道	5.7	▲2.6	▲2.2	▲2.0	▲1.7	▲2.0	▲2.1	
サービス	50.3	0.0	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲0.2	▲1.0	
公共サービス	12.9	▲2.5	▲3.2	▲3.0	▲3.1	▲3.4	▲3.5	
外食	4.9	3.2	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	
家賃	17.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	
他のサービス	14.9	1.0	▲0.2	0.3	0.7	1.4	▲1.4	

【全国CPI前年比】 — 総合 — コア - - - 生鮮・エネルギーを除く



【NY原油価格の推移】



【出所】Bloomberg、IN情報センター

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。
 お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。